

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第060号(通算)

令和4年6月24日(金)発行

6月も最終週になります。しかし、その前に期末考査です。試験対策に取り組んでいます？ 抜かりないように、計画を立てて頑張りましょう。また、コロナ禍が続き、いろいろと不安が募りますが、ウイズコロナを踏まえた取り組みが模索されています。川辺高校は、様々な取組を検討・実施していく予定です。やがて訪れるであろう、ポスト(アフター)コロナ時代を心待ちにしています。それまで、感染防止に努めながらも、いろいろなアイデアがあったら一緒に実現していきましょう。

学年朝礼の様子

令和4年6月6日(月)

1年生

堀脇先生による講話



文化祭を前にした心構えは、「授業や休み時間の区別をしっかりとつけましょう。」ということです。鹿児島南高校の陸上部のTシャツ(10年ほど前)には、「動か静」という文字がプリントされていた。陸上強豪校、挨拶もしっかりしていて、大会中の行動もキビキビしていて鍛えられて稲名と感心していました。一緒に練習した時に、「動か静」は当時の顧問の先生の「どうかせい!(どげんかせんか!)」から来ていると知り、「自分で考えて行動しなさい」という意味が込められていると分かった。次を考えて回りを見て自ら行動できるように成長して欲しい。

2年生

男子生徒による読み聞かせ実演



今回は、田頭涼平、東峯大和、前田崇博、宿里優斗さんの四人組による発表というか、紙芝居? 読み聞かせでした。題材は、紙芝居「アマガエルのきしょうよほうし」で、アマガエルの子ども・あたるさんの成長の物語でした。真剣な姿に感動しました。

3年生

神川先生による講話



(講話は、Dreams come trueの「うれしい たのしい 大好き」という音楽に乗って始まりました。)

この曲は、有名なハッピーソングですが、私にとって、苦い思い出と結びついている曲でもあります。それは、企業勤めを始めた頃、士気を高めるために、朝から根性論やロールプレイみたいなことは求められ、私にとってハッピーなことではありませんでした。いま立場が変わり、生徒に対して、このようなことを提案しています。でも、私は、受けつけない人の気持ちが誰よりもよくわかります。そこで私が困難を乗り越えた2つの法則を紹介します。

正三角形の法則

- ①続ける力 ②落ち込む力(ほどほどに)
- ③這い上がる力(resilience)

まずは続けること、上手いかなかったらいったん落ち込むこと。(落ち込みすぎはダメ)落ち込みをセーブできる力も大切です。そして一番大切なのが這い上がる力です。この三つのバランスを取り正三角形にすることが理想です。

TTPSの法則

TTPSって徹底的にパクって進化することです。ただのものまねではダメです。自分のものにまで進化させ、学びを最大化することです。

音楽部定期演奏会

令和4年6月19日(日)

今年も川辺文化会館で、定期演奏会を開催出来ました。部員12名ですが、日頃の練習成果を披露できた楽しいコンサートとなりました。生徒会の皆さんや卒業生、指導者の方々の手助けを借りて、この日にたどりつけました。感謝!!



6月のいろ

あまいろ
天色



天色(あまいろ)

「あめいろ」「てんしょく」「そらいろ」などの読み方もあります。晴天の澄み渡った空のような鮮やかな青紫色は、特に天の高い位置の空の色を指していたそうです。眺めていると刻一刻と移り変わる空模様が浮かんできます。

こけいろ
苔色



苔色(こけいろ)

青苔に由来する色名とされています。平安時代に使われ始め、江戸時代には着物の流行色となりました。深みのある渋い緑は、落ち着いた趣と堂々とした存在感を放ちます。侘び寂びを愛する日本人の心に馴染む色合いです。